

徳島市緑化審議会会議録概要

会議名	令和4年度 第2回徳島市緑化審議会
開催日時	令和5年1月25日(水)午後1時30分～午後2時25分
開催場所	徳島市役所8階 庁議室
議事	(1) 市民・民間企業アンケート調査結果について(資料1・2) (2) 徳島市緑の基本計画素案について(資料3)
会議の公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由)
出席委員	森本会長、生田副会長、栗飯原委員、椎野委員、高瀬委員、谷委員、錦野委員、春田委員、水主委員、美馬委員
傍聴者	なし
事務局	都市建設部公園緑地課

会議概要及び会議結果

議事

(1) 市民・民間企業アンケート調査結果について

事業者から、資料1「徳島市緑の基本計画の改定に伴う第3回徳島市インターネットアンケート集計結果」、資料2「徳島市緑の基本計画改定にかかる民間企業へのアンケート」をもとに説明。

(会長)

説明いただいた事項に関して、意見や質問事項等はあるか。

意見なし

(2) 徳島市緑の基本計画素案について

事務局から、資料3「徳島市緑の基本計画(素案)の概要」をもとに説明。

(会長)

説明いただいた事項に関して、意見や質問事項等はあるか。

(委員)

緑化重点地区「眉山山頂周辺重点地区」について、以前はかんぼの宿徳島(徳島簡易保険保養センター)を拠点に宿泊等がされていたが、閉館後、そのままになっている。現状はどのようなになっているのか。

(事務局)

日本郵政が1月末をめどに売却のための入札を進める予定と聞いている。

事業者が決まり次第、日本郵政から市に連絡があるので、日本郵政とも連携を取りながら新たな施設としての活用に向けて議論していきたい。

(委員)

資料3について、「公園緑地を支える担い手が不足」とあるが、施策展開の中に「担い手不足を解消」や「人材育成」の文言が見当たらない。追加してはどうか。

また、農業に関する視点から、農業は多面的機能があり緑を維持することに大きな役割を果たしていると考えられる。計画内でも「市街地および周辺の農地の保全」と記載があるが、国の施策や事業等も活用して取り組んでほしい。

(事務局)

人材育成については、すでに、パークアドプト制度や花苗助成制度により支援を行っている。課題としては参加団体の構成員の減少・高齢化があり、学校単位での参加も可能としているので、小学生や中学生、高校生などに協力してもらえよう積極的な声掛けを行ってほしいと考える。

農業の保全については、関係部局と協議した上で盛り込んでいきたい。

(委員)

計画期間20年間とあるが、ずいぶん長い気がする。これは適切か。

(事務局)

都市緑地法では、20年をめぐりに作成するとされている。おっしゃるように、20年は長い期間であるので、今後の法改正や動向を踏まえて、中間見直しも考えていきたい。

(委員)

「有機的なネットワーク」とは具体的にどのようなことか。

(事務局)

施策の柱として、公共施設の緑化、民有地の緑化、自然環境の保全などを掲げている。緑化が目に見えてわかるような施策を行ってほしいと思っている。

(委員)

20年間は長いと思う。短期的に何をやるのかを検討してほしい。

(事務局)

近々の課題については、計画内に事業を盛り込んで進めていきたい。

例えば、徳島文化芸術ホール（仮称）の整備にあわせて、寺島公園を魅力ある空間に再整備することを考えている。別冊 P.50 以降を参照してほしいが、市役所前公園についても再整備を考えていきたい。また、新町川公園のボードウォークについては、傷みがひどいというご意見もあるため、修繕を行いたいと思っている。

現状では、まずこの3点を中心に進めていきたい。

(委員)

全国的な優良事例としてはどんなどころがあるのか。

(事務局)

民間事業が積極的な介入を行い魅力的な空間づくりを行うこととして、P-PFI制度の活用などがなされている。眉山公園についても、民間活力の導入も意識して進めていけばよいと考える。

(会長)

他にご意見はあるか。

意見なし

(会長)

ほかにご意見がないようなので、本日の議事を終了する。

以 上